共立女子大学大学院　家政学研究科　児童学専攻　カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー

DP1-1
客観性・自律性―学識と倫理
知識基盤社会を支える人材として、広い視野に立ち、高い倫理観とともに、保育・教育・福祉及び発達臨床に関する高度な学識を身に付けている。

DP1-2
客観性・自律性―主体的判断力
社会や環境の変化に対応するために、保育・教育・福祉及び発達臨床に関する高度な学識に基づき、主体的に思考し、自律的に行動することができる。

DP2-1
課題発見・解決力―社会的役割
児童学の果たす社会的役割を意識した上で、保育・教育・福祉及び発達臨床に関する学術的研究を通して、人間的・社会的意義を見出すことができる。

DP2-1
課題発見・解決力―課題解決力
児童学に関する多様な課題を発見し、論理性や批判的思考に基づき、自ら課題解決に向けて仮説を構築し、検証することができる。

DP3
リーダーシップ
専門的な知識・技能の異なる他者と協働して課題に取り組み、計画的に行動することで、広く社会に貢献することができる。

カリキュラム・ポリシー

特別研究　CP3
専門分野の異なる複数の指導教員のもとで、児童学における学術的な課題を設定し、調査分析に基づく資料作成・プレゼンテーション・ディスカッションにより研究を計画的に進め、その成果を修士論文にまとめる「児童学特別研究」を設置し、必修とする。『児童学特別研究」では保育・教育・福祉及び発達臨床に関する高度な知識とともに、グローバルな環境で活躍する高度な人材に必要とされるライティング・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を習得する。

専門教育科目　CP2
児童学の専門的な知識・技能を修得し、主体的に思考し、自律的に行動すること、人間的・社会的意義を見出すこと、さらには、多様な価値観や意見を尊重し、他者と協働して課題に取り組む能力を養成するために、順次性のある体系的な専門科目を保育・教育・福祉領域、発達臨床領域に区分して編成する。
幼稚園教諭一種免許状を有する者に、幼稚園教諭専修免許状の取得に必要な科目を設ける。また、臨床発達心理士の資格申請を考慮した科目を設ける。

共通科目　CP1
知識基盤社会を支える人材として必要とされる汎用的な能力を身につけ、専門領域を超えて学際的な家政学の広範な知識・技術を修得するために共通科目の「家政学総合研究」（２単位）を1年次に設定して必修とする。

児童学特別研究

臨床事例研究

保育・教育・福祉領域

DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-1	DP3
現代社会と児童特論 幼児教育・保育学特論 教育学特論 教育課程・教授法特論 子ども家庭生活特論 保育・教育支援特論 表現文化研究特論 A 表現文化研究特論 B	現代社会と児童特論 幼児教育・保育学特論 教育学特論 教育課程・教授法特論 子ども家庭生活特論 保育・教育支援特論 表現文化研究特論 A 表現文化研究特論 B	現代社会と児童演習 幼児教育・保育学演習 教育学演習 教育課程・教授法演習 子ども家庭生活演習 保育・教育支援演習 表現文化研究演習 A 表現文化研究演習 B	現代社会と児童演習 幼児教育・保育学演習 教育学演習 教育課程・教授法演習 子ども家庭生活演習 保育・教育支援演習 表現文化研究演習 A 表現文化研究演習 B	

発達臨床領域

DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-1	DP3
人間関係学特論 発達臨床学特論 発達心理学特論 発達障害支援特論	人間関係学特論 発達臨床学特論 発達心理学特論 発達障害支援特論	人間関係学演習 発達臨床学演習 発達心理学演習 発達障害支援演習	人間関係学演習 発達臨床学演習 発達心理学演習 発達障害支援演習	

家政学総合研究

DP1-1との関連性が高い科目	DP1-2との関連性が高い科目	DP2-1との関連性が高い科目	DP2-2との関連性が高い科目	DP3との関連性が高い科目

アドミッション・ポリシー

AP1-1
家政学研究科児童学専攻における教育研究の特徴を理解し、高い倫理観を身につける素養を有している。

AP1-2
家政学研究科児童学専攻における学びを主体的に追求し、自律的に行動しようとする意欲を有している。

AP2
家政学研究科児童学専攻における学修・研究に必要な知識や技能を有し、児童学の果たす社会的役割や、保育・教育・福祉及び発達臨床に関する学術研究による人間的・社会的意義について思慮することができる。

AP3
学術的もしくは社会的な見地から保育・教育・福祉及び発達臨床に関する多様な課題を発見し、論理的に思考できる能力を有している。

AP4
多様な価値観や意見を尊重し、専門的な知識・技能の異なる他者と協働して課題に取り組むことができる。